

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年3月14日

【評価実施概要】

事業所番号	0172900755		
法人名	有限会社 ノースランド企画		
事業所名	グループホーム きれんじゃく		
所在地	北海道旭川市末広5条7丁目1番11号 (電話) 0166-58-3838		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成21年3月12日	評価確定日	平成21年3月26日

【情報提供票より】(平成21年2月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)13年8月20日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	24人	常勤12人, 非常勤12人, 常勤換算	11.1人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	3階建ての ~ 2階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000円	その他の経費(月額)	15,800~20,800円	
敷金	有(30,000円) 無			
保証金の有無(入居一時金含む)	有()円) 無()円)		有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,000円			

(4) 利用者の概要(2月1日現在)

利用者人数	18名	男性	3名	女性	15名
要介護1	0名	要介護2	5名		
要介護3	4名	要介護4	9名		
要介護5			要支援2		
年齢	平均 85歳	最低	66歳	最高	94歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	(医)フクダ 旭川メディハイルペインクリニック
---------	-------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

末広介護支援館の2階部分にある開設8年目を迎える母体医療法人が運営する2ユニットのグループホームです。地域との交流にも積極的に地域の独居老人が集う「ふれあいサロン」の参加では、カラオケや昼食会を一緒に楽しんだり、不安を持っている人達への相談も行っていると共に敬老会や町内会のお祭り参加で地元の人々との交流も行われています。また内部研修では、同一法人内多施設と事例研究の発表会開催や研修会、法人内では緩和ケアや転倒防止、感染症予防対策、薬の効能など職員の段階に応じた育成やスキルアップの取り組みが計画的に行われ充実されています。また、家族の来訪も多く職員との信頼関係構築が伺えます。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、市との連携で地域への理解を得る取り組みに付いて挙げられていましたが、ふれあいサロンの参加で地域の独居の人たちの困っていること、不安に思っていることなど相談に乗りながら認知症への理解やホームの持つ機能を地域に還元するなど行われています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、全ての職員が参加して取り組んでいます。自己評価では、改善すべき課題や取り組みが明確になってその課題解決に具体的に取り組んでいます。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議の主な議題については ふれあいサロン参加について 独居生活の相談について 独居生活者の健康相談について 家族や地域の役員等が参加して、具体的内容の活動が実施されています。今後は、議事録を定期的に残すことを期待します。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族の来訪も多く、健康状態や生活の様子など良く話し合わせ要望の聞き取りや不安な点などへの対応が話し合わせ信頼関係ができていたことが伺えます。また、市内でも初期の開設事業所で利用者の重度化も進んでいますが、本人の尊厳や家族の要望・希望も良く聞いてケアサービスに活かされていることが伺えます。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地域の人達が通う1階部分のデイサービスでの交流や中学生の体験学習・専門学校生の実習の受け入れ、ボランティアの受け入れ、ふれあいサロンでの地域の独居老人の悩みや健康相談などホーム機能の地域への還元や地域との連携した取り組みが実践されています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、全ての職員が参加してホーム独自の理念をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、理念を達成するために具体的な個々の目標を掲げその達成度について話し合わせフォローアップされている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の人達が通う1階部分のデイサービスでの交流や中学生の体験学習・専門学校生の実習の受け入れ、ボランティアの受け入れ、ふれあいサロンでの地域の独居老人の悩みや健康相談などホーム機能の地域への還元や地域との連携した取り組みが実践されている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、全ての職員が参加して取り組んでいます。自己評価では、改善すべき課題や取り組みが明確になってその課題解決に具体的に取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議の委員は、利用者、家族、町内会役員、知見を有する有識者、町内会婦人部役員、管理者・職員で構成され、具体的に取り組んでいる。</p>		<p>今後は、家族や地域の役員等が参加して、具体的内容の活動が実施されているので議事録を定期的に残すことを期待します。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>末広地区社会福祉協議会主催事業のふれあいサロンの参加で地域の独居の人たちの困っていること、不安に思っていることなど相談に乗りながらサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>金銭管理については、毎月出納を報告している。また、毎月「グループホーム きれんじゃく」を発行して、利用者の日常の暮らしぶりやホーム行事参加の様子を報告したり、近況報告書で個々の健康状態や状態変化などを報告している。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族の来訪も多く、健康状態や生活の様子など良く話し合われ要望の聞き取りや不安な点などへの対応が話し合われ、本人の尊厳や家族の要望・希望も良く聞いてケアサービスに活かされていることが伺えます。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>管理者は、職員の離職や異動などで利用者に影響を与えないように配慮する取り組みをしている。また、ホールには分かりやすいように職員の顔写真を掲示している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>内部研修では、同一法人内多施設と事例研究の発表会開催や研修会、法人内では緩和ケアや転倒防止、感染症予防対策、薬の効能など職員の段階に応じた育成やスキルアップの取り組みが計画的に行われ充実されている。</p>		<p>特筆すべき点として、法人の内部研修の充実を図り、個々の職員の段階に応じて育成するための取り組みや働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会や包括支援センター、市主催の研修会を通じて同業者との交流が行われている。また、同一法人の他施設との合同の事例研究などでケアサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、入居前には、自宅訪問や見学、併設するデイサービスの利用などで不安を解消する取り組みや、場の雰囲気に馴染めるように工夫している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に食事の準備や後片付けをしたり、散歩や買物、レクリエーションを楽しみながら本人の気持ちになった支えあう関係を築いている。</p>		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>					
<p>1. 一人ひとりの把握</p>					
14	33	<p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めて、散歩や買い物、花見や常盤公園散策、紅葉見物、習字や歌唱などのへの支援や食事の準備・後片付けなど本人の希望や意向を尊重した取り組みが支援されている。</p>		
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、介護計画は作成されており、利用者、家族の希望や医師からの助言・情報や職員からの意見を取り入れ具体的なものとなっている。また、センター方式が導入され生活歴が把握され介護計画に反映されている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画は、毎月モニタリングを実施し、3ヶ月に一度計画的に見直しが行われている。また、利用者・家族の要望や利用者の状態変化に応じて期間終了前であっても都度、現状に即した介護計画の見直しが行われている。</p>		
<p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、パワーリハビリテーションやデイサービスが利用できる。また、散歩や買い物など柔軟に支援を行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	母体が医療法人で利用者、家族の信頼は厚い。また、利用者、家族の希望や要望に応じて状態変化などについても適切な医療が受けられるよう支援されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期に向けて本人、家族と段階的に繰り返し話し合いながら本人にとって最善の方法を確認して支援に取り組んでいます。また、ターミナルケアの実績も有る。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの尊厳やプライバシーを尊重した声かけや対応が行われている。また、記録等の個人情報の取り扱いは、法に対応した取り組みが行われている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切に、近隣への散歩や買い物、食事の準備や後片付け、入浴や趣味への支援、公園や紅葉見物などその日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、食事の準備や後片付け、食器洗いなど職員と一緒にしている。また、個別に介助の必要な利用者にも対応している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、本人の希望に応じて対応している。また、ゆっくりとくつろいで入浴が楽しめるように支援されている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かしながら買い物や散歩、習字や歌唱、食事の準備・後片付け、寿司やラーメンなどの外食、公園散策や紅葉狩りなど気晴らしの支援をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	一人ひとりのその日の希望にそって、買い物や散歩、寿司などの外食、常盤公園見物など気分転換ができるように支援されている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。また、行方不明者捜索マニュアルも近日中に作られ職員の研修も行われる予定です。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>緊急連絡網も整備され、火災避難訓練が年2回実施されている。また、消火設備についても点検が実施され対策されている。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>栄養バランスや摂取カロリーについては、管理栄養士の指導・アドバイスも受けて支援されている。また、具体的な食事摂取量や水分摂取量が把握され、記録されている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>廊下や居間は全体的に広く、ソファや椅子、テーブルが配置され一人になったり利用者同士談笑できるスペースが確保されている。また、壁には季節の貼り絵が作られたり、利用者の作品が飾られて生活感も感じられる。利用者にとって不快な匂いや音の大きさ、光の強さは感じられない。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、テレビなどの家電製品や仏壇、使い慣れた家具や家族の写真、趣味の手作りの作品が飾られ、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。